アクティブノイズキャンセリングヘッドホン
ATH-ANC1

取扱説明書

audio-technica

QuietPoint®

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

**本製品は周囲の騒音を低減し、より快適な環境で音楽を楽しむためのノイズキャンセリングヘッドホンです。
内蔵された小型マイクロホンが周囲の騒音を検知し、キャンセリング信号を生成して騒音を効果的に低減します。**

※本製品のノイズキャンセリング機能は主に300Hz以下の騒音を低減させるため、それ以上の周波数成分の多い騒音（電話の着信音、話し声など）に対しては効果がほとんどありません。

audio-technica　**保証書**　持込修理

型番	ATH-ANC1
ご購入年月日	年　月　日
保証期間	ご購入日より　1年
フリガナ ご氏名	
ご住所　〒	☎　(　　)
販売店・[illegible]	

●裏の保証規定を必ずお読みください。

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206　http://www.audio-technica.co.jp

お問い合わせ先（電話／平日9:00～17:30）

商品のお問い合わせや故障・修理のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口及びホームページの「サポート」までお願いします。

●**相談窓口（製品の仕様・使いかた）**　0120-773-417
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp

●**サービスセンター（修理・部品）**　0120-887-416
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp

安全上の注意

**本製品は安全に充分な配慮をして設計をしていますが、使いかたを誤ると事故が起こることもあります。
事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。**

⚠危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
⚠警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体についての注意

⚠警告

●自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しないでください。交通事故の原因となります。
●周囲の音が聞こえないと危険な場所（踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など）では使用しないでください。

⚠注意

●耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。
●肌に異常を感じた場合は、すぐにご使用を中止してください。
●本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐにご使用を中止してください。
●分解や改造はしないでください。
●ハウジングとアームの間に、指などをはさまないようにご注意ください。

使用上の注意

●ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
●交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
●接続する際は、必ず機器の音量を最小にしてください。
●強い衝撃を与えないでください。
●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。
●本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
●本製品に無理な力を加えた状態で放置しないでください。
変形する恐れがあります。
●本製品をそのままバッグやポケットなどに入れるとコードが引っかかり、断線の原因になります。必ず付属のポーチに収納してください。
●コードは必ずプラグを持って抜き差ししてください。コードを引っ張ると断線や事故の原因になります。
●コードをポータブル機器に巻き付けないでください。断線の原因になります。
●折りたたむとき、ヘッドバンドと本体コードブッシュが引っかからないようにしてください。断線の原因になります。
●デジタルアンプを搭載したポータブルプレーヤーなど、一部の機器ではご使用いただけない場合があります。
●本製品はノイズキャンセリングヘッドホンとして設計されていますので、電源オンとオフで音量差があります。
●電池なしでのご使用は補助的なものです。電池が切れた場合は、新しい電池に交換してご使用ください。
●付属の航空機用変換アダプターは、航空機の搭載機材により使用できない場合があります。
●航空機内で電子機器が使用禁止になっている場合や、機内の音楽サービスを個人のヘッドホンで使用することが禁止されている場合は、本製品を使用しないでください。

●φ3.5mmステレオジャック以外のヘッドホン端子の機器と接続する場合は、適切な変換プラグアダプターをお買い求めください。
●コードを延長する場合は、別売のヘッドホン延長コードをお買い求めください。

電池についての注意

指定電池	単4形アルカリ乾電池

ニッケル水素などの充電式電池やパワーチェッカー付きの乾電池は使用しないでください。

⚠危険

●電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。

⚠警告

●幼児の手の届く所に置かない
電池を飲み込んだ場合はすぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の恐れがあります。

●火の中に入れない、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●極性通りに入れる
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●液漏れした電池はすぐに取り出し、液は素手でさわらない
・幼児がなめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。

●硬貨やカギなど金属製のものと一緒の場所に置いたり、電池の＋と－を接続しない
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●乾電池は充電しない（乾電池の場合）
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●使い切った電池はすぐに取り出す
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●長期間使用しない場合は電池を取り出す
液漏れによる故障の原因になります。

⚠注意

●外装ラベルがはがれた電池は使用しない、ラベルをはがさない
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●落下させたり強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●変形させたりハンダ付けしない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●以下の場所で使用、放置、保管しない
・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
・炎天下の車内
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

●保管、廃棄の場合は端子部をテープなどで絶縁する
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

●水に濡らさない
発熱の原因になります。

●指定の電池以外使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する
環境保全に配慮してください。

■ お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

- **●本体について** ………… 乾いた布で拭いてください。
- **●コードについて** ………… 汗などで汚れた場合は、使用後すぐに乾いた布で拭いてください。汚れたまま使用すると、コードが劣化して固くなり、故障の原因になります。
- **●プラグについて** ………… プラグが汚れたまま使用すると、音とびや雑音が入る場合があります。汚れたら乾いた布で拭いてください。
- **●イヤパッドについて** …… 乾いた布で拭いてください。

●イヤパッドは消耗品です。保存や使用により劣化しますのでお早めに交換してください。イヤパッドの交換、その他修理については、販売店または当社サービスセンターへお問い合わせください。

■ 故障かな?と思ったら

アクティブノイズキャンセリング機能の仕組み

本製品は内蔵された小型マイクで周囲の環境騒音（乗り物の騒音やエアコンなどの空調音など）を収音し、その逆位相音を出して騒音を打ち消す仕組みになっています。その結果、環境騒音が低減して聞こえます。

※全ての騒音が消えるということではありません。
※パワースイッチをオンにすると「サー」という音がしますが、これはノイズキャンセリング機能の動作音で故障ではありません。

Q1. 音が出ない。

A1：パワーインジケーターをご確認ください。
パワースイッチがオンの状態で、インジケーターが消えている、または点滅している場合は、新しい電池と交換してください。

A2：電池無しで聴く場合はパワースイッチをオフにしてください。
パワースイッチがオンのままでは音は聞こえません。

Q2. ノイズキャンセリング効果が感じられない。

A1：パワーインジケーターをご確認ください。
パワースイッチがオンの状態で、インジケーターが消えている、または点滅している場合は、新しい電池と交換してください。

A2：電池ケースのフタが確実に閉まっているかご確認ください。
フタが浮いているとノイズキャンセリング効果が低下します。

A3：ヘッドホンをかけ直してください。
ヘッドホンと耳の位置が合っていない可能性があります。

A4：周囲の騒音がキャンセリング周波数に合わない場合があります。

Q3. ノイズが出る。

A1：デジタルアンプを搭載したポータブルオーディオなど、一部の再生機器では、ノイズが出る場合があります。

Q4. ハウリング音（「ピー」という音）が鳴る。

A1：ヘッドホンをかけ直してください。
ヘッドホンと耳の位置が合っていない可能性があります。

Q5. 音がひずむ。

A1：接続した機器の音量を下げてください。

A2：パワーインジケーターをご確認ください。
パワースイッチがオンの状態で、インジケーターが消えている、または点滅している場合は、新しい電池と交換してください。

Q6. ブーン、パタパタといった音が聞こえる。

A1：近くにある携帯電話やコンピューター関連機器のノイズを拾っている可能性があります。
ノイズを発生させる機器から遠ざけてご使用ください。

各部の名称と機能

ヘッドバンド

ジョイント

スライダー

スイーベル

イヤパッド

左右（L/R）表示位置

クリップ

コントロールボックスはクリップで胸ポケットなどに挟んで固定することができます。

クリップ

左側には指で触ってわかるように凸形状があります。

コントロールボックス

ハウジング

本体コードブッシュ

パワースイッチ

ノイズキャンセリング機能を動作させるスイッチです。
電池がなくなった場合は、パワースイッチをオフにして補助的にステレオヘッドホンとしてご使用できます。

プラグ
コードブッシュ

1.2mコード

パワーインジケーター

電池残量が少なくなると、パワーインジケーターが暗くなってきます。その場合は早めに電池を交換してください。
ノイズキャンセルの効果が低下したり音が歪んだりします。

付属品

延長コード（0.5m）

航空機用変換アダプター

単4形
アルカリ乾電池
（動作確認用）

専用ポーチ

※航空機でご使用の際は、搭載機器によりジャックの形状が異なります。
航空機変換アダプターも必ずお持ちください。

電池交換のしかた

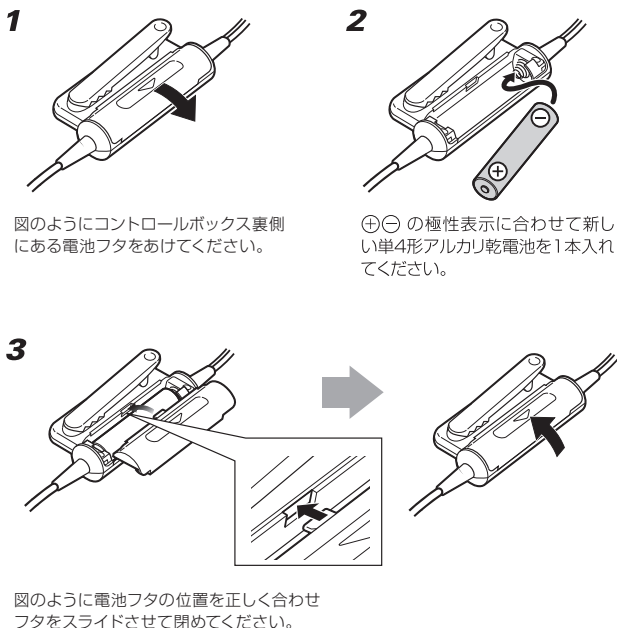
1

図のようにコントロールボックス裏側にある電池フタをあけてください。

2

⊕⊖ の極性表示に合わせて新しい単4形アルカリ乾電池を1本入れてください。

3

図のように電池フタの位置を正しく合わせフタをスライドさせて閉めてください。

テクニカルデータ

型式	：密閉ダイナミック型
ドライバー	：φ36mm
再生周波数帯域	：10～20,000Hz
ノイズキャンセルレベル	：最大−18dB
出力音圧レベル	：105dB/mW（ノイズキャンセル使用時）、 98dB/mW（ノイズキャンセル不使用時）
インピーダンス	：130Ω（ノイズキャンセル使用時）、 37Ω（ノイズキャンセル不使用時）
質量	：約100g（電池、コードを含まず）
プラグ	：φ3.5mm金メッキステレオミニプラグ
コード長	：1.2m（Y型*）　*左右のコードの長さが同じです。
電源	：DC1.5V（単4形アルカリ乾電池×1本）
電池寿命	：約40時間（使用条件により異なります。）

●付属品
　延長コード（0.5m、φ3.5mm金メッキステレオミニプラグ）
　航空機用変換アダプター※（金メッキプラグ）
　　※航空機の搭載機器により、使用できない場合があります。あらかじめご了承ください。
　　※このアダプターは本製品専用です。他のヘッドホンには使用しないでください。
　単4形アルカリ乾電池（動作確認用）
　専用キャリングポーチ

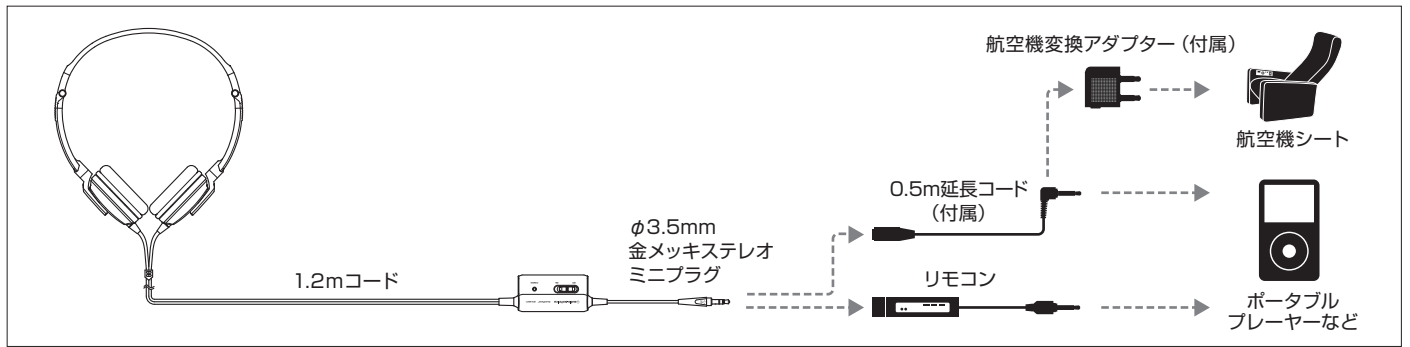
（改良などのため予告なく変更することがあります。）

お問い合わせ先（電話受付／平日9：00～17：30）
商品のお問い合わせや故障・修理のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口及びホームページの「サポート」までお願いします。

●**相談窓口（製品の仕様・使いかた）** 0120-773-417
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp

●**サービスセンター（修理・部品）** 0120-887-416
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp

■ 使いかた

■ 接続例

1 接続する機器の音量を最小にして、接続する機器のヘッドホン端子に本製品を接続してください。航空機でご使用の場合は上図のように付属の航空機用変換アダプターなどをご使用ください。

2 本製品のパワースイッチをオンにし、パワーインジケーターが点灯していることをご確認ください。（ノイズキャンセリング機能を使用しない場合はオフにします。この場合、インジケーターは点灯しません。）

3 本製品の左右のイヤパッドが内側を向くようにハウジングを回転*1させ、"L（左）"の表示側*2を左耳に、"R（右）"の表示側を右耳に装着します。

4 接続した機器を再生し、音量を調整します。

5 使い終わったらパワースイッチをオフにしてください。

＊1　また、それぞれ90度以上は回転できませんので、無理な力を加えないでください。

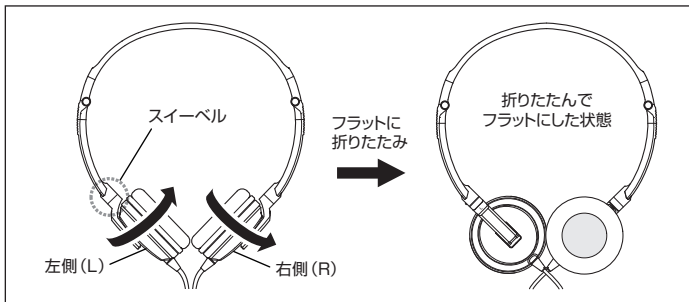
＊2　左側には指で触ってわかるように凸形状があります。

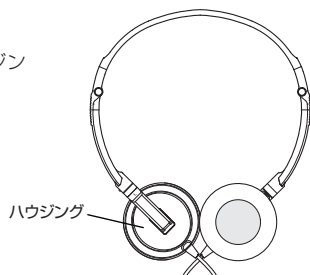
※本製品は電池が切れた場合でも、通常使用ができるスルー機能を搭載しています。

※本製品は性能確保のため、音楽再生音が外から聞こえやすくなっています。
交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。

■ スイーベル機構

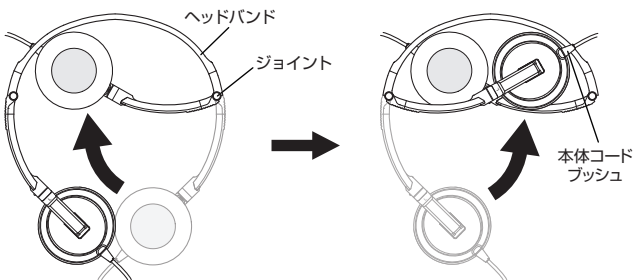
ハウジングをフラットに折りたためます。

※左右のイヤパッドの向きが逆になります。また、それぞれ90度以上は回転できませんので、無理な力を加えないでください。

■ 折りたたみかた

1. スイーベル機構を参考にハウジングをフラットにします。

ハウジング

2. ヘッドバンドを最短に調整し、ジョイント部を支点にハウジングをヘッドバンドの方向へ折りたたみます。

※ヘッドバンドが最短にならないと、折りたたむことができません。

※折りたたむとき、ヘッドバンドと本体コードブッシュが引っかからないようにご注意ください。

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。
お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206　　http://www.audio-technica.co.jp　3823-08450

オーディオテクニカ製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。お買い上げの製品に万一異常が生じた場合は、この保証書の規定により保証期間内に限り無料で修理させていただきます。修理の際にはこの保証書をご提示願いますので大切に保存してください。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために、大切に保管ください。

なお、保証期間経過後も責任をもって修理いたしますが、その際は有料となりますのでご了承ください。本製品の基本性能を維持するために必要な部品（補修用性能部品）の最低保有年限は製造打切後6年です。

保証規定（必ずお読みください）

保証期間中に取扱説明書に従った、正常なご使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。お買い上げのお店、当社サービスセンターへご連絡ください。また修理の際オーディオテクニカの判断で製品交換させていただくことがありますのでご了承ください。以下の場合は保証期間内でも修理実費をいただき、故障の状況によっては修理できないこともあります。

① 取扱いの誤りによる故障や破損。
② 天災な
③ 本製
④ 表記
⑤ お買
⑥ 一般
⑦ 本保
⑧ 保証
開始

保証の対

●消耗・摩耗
マイクロホンの脱着式ウインドスクリーン、ミキサーのフェーダー類）及びポーチなどの収納ケース類や、その他付属品。また、接続した機器のソフト及びデータなどは、補償いたしかねますのでご了承ください。

修理品の送料

●保証の期間内、期間経過後を問わず、修理・検査のために製品を郵送、託送される場合は、お客様に送料をご負担いただきますのでご了承ください。製品は、輸送中の事故がないよう、梱包してお送りください。

修理品の保証

●修理後、同一個所に同一の故障を生じた場合は、保証期間を超過しても修理完了日より3ケ月以内に限り無料で修理いたします。

その他

①この保証書の記載内容によってお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。
②この保証書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
③本保証書は再発行いたしませんので、紛失なさらないよう大切に保管してください。

audio-technica